

# 沈黙の声



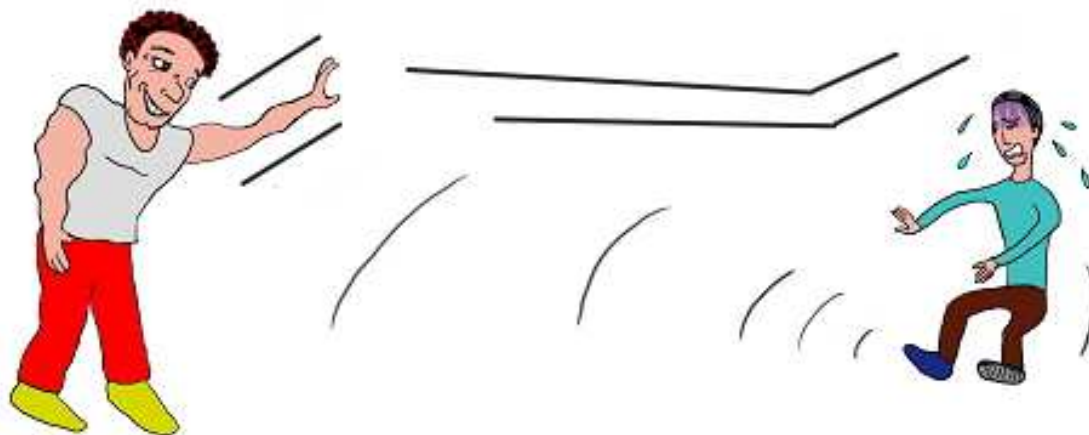
東郷 潤

強い奴と弱い奴が戦っています。



強い奴は、なんだか楽しそうですね。でも弱い奴は必死です。文字通り命がけです。

・・・ところで、ふたりはなぜ戦っているのでしょうか？ ちょっと想像してみましょう。



強い奴が戦う動機を想像することは簡単ですね。なぜって強い奴は負けることはないので、リスクは0。



だからどんなにつまらないことでも、十分に戦う動機となりうるのです。

たとえば、自分を正義の味方だと信じたいとか。 …理由はどうあれ、弱い奴を悪人だと思って戦えば、自分を正義の味方だと思えます。 それって強い奴の虚栄心をくすぐるかも。地獄に落ちる恐怖をやわらげてくれるかも。



あるいは単純に、ストレス解消とか。



あるいは、弱い奴の恋人を奪うとか？ 無理やり自分の歌を聞かせるとか？



あるいは、弱い奴のお金や財産を奪うとか？ 強い奴にしてみれば、戦うことは究極のローリスク・ハイリターン、濡れ手に粟の金儲けなのです。



問題なのは、弱い奴が戦う動機です。弱い奴が勝つ可能性はありません。普通に考えれば、何が何でも戦いたくは無いでしょう。戦えば、自分の財産も命も自由も全てを奪われてしまうのですから。



では弱い奴が戦う動機は何でしょう？ どうせ負けるのなら、なぜ言われるがまま、全てを差し出し服従しようとはしないのでしょうか？





弱い奴が戦う動機は何にせよ、それはきっと自分の命や財産を守ることも、大切なことなのでしょう。



あ、強い奴が勝ちましたね。当たり前ですけど。

これで弱い奴は、おしまいです。

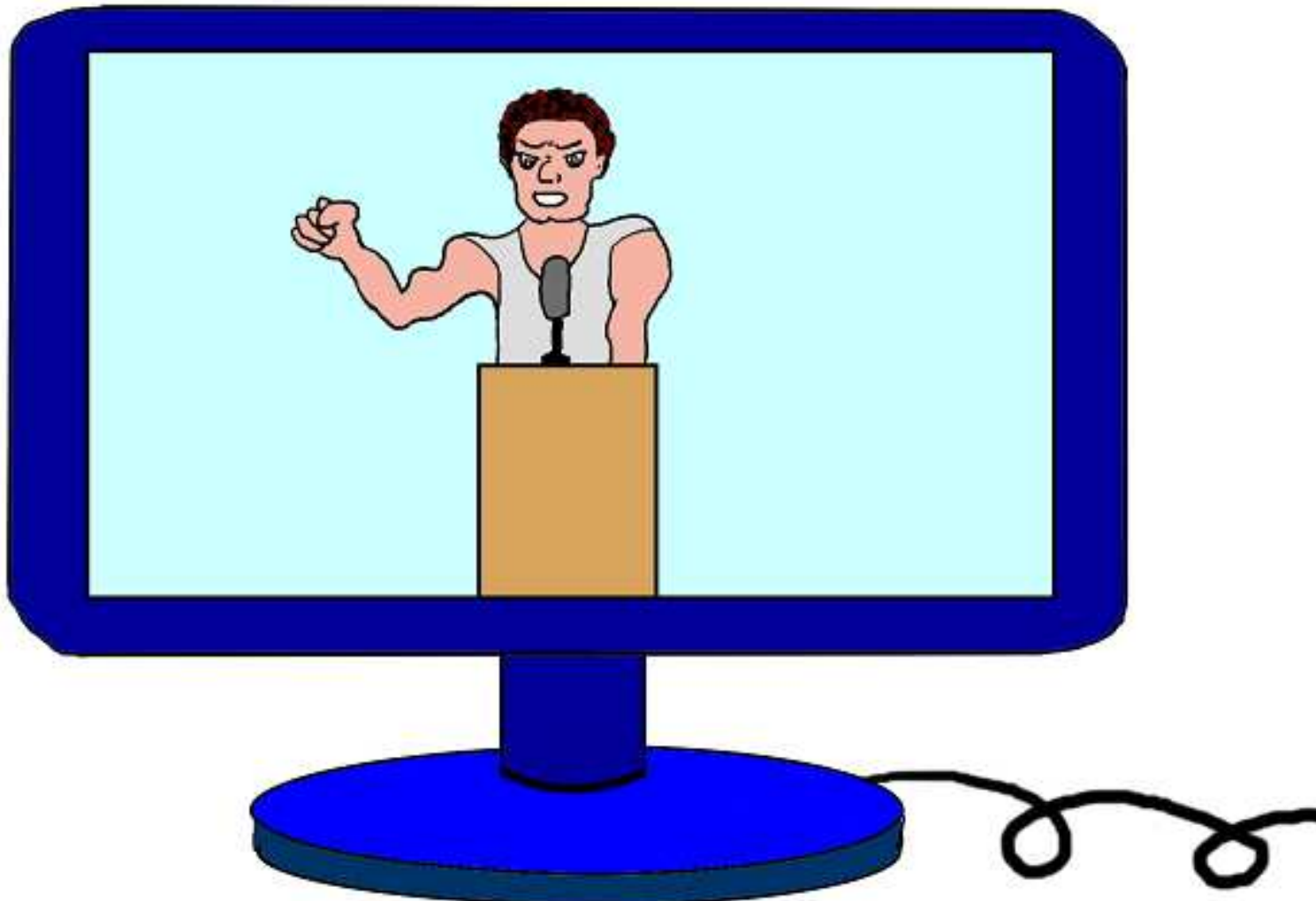




ああそれにしても、弱い奴は、なぜ負けると分かっているのに戦ったのでしょうか？ そこには、どれほどの事情、思いがあったのでしょうか？



**勝者の叫声は世界に響き、耳をふさいでも聞こえて来る。**



**でも言うことは、いつも同じだ。・・・自分が正しく相手が悪いと。**



あなたの声は聞こえない…

## あとがき ー絵本「沈黙の声」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

[www.j15.org](http://www.j15.org)

©Jun Togo 2012